

第 25 回 JOC ジュニアオリンピックハンドボール大会

戦 評 報 告 書

競技日	平成 28 年 12 月 26 日	種別	中学 <u>男子</u> ・女子
回戦	<u>準決勝</u> ・決勝	会場	浦添市民体育館

チーム A			チーム B	
広 島			大 分	
19	11	前半	13	23
	8	後半	10	
		第一延長前半		
		第一延長後半		
		第二延長前半		
		第二延長後半		
		7mTC		

選評委員氏名	新垣 英之
<p>試合は大分のスローオフで立ち上がり④佐野、⑤江藤⑥後藤らの得点で開始7分までに6得点をあげる。守っては①野上の好セーブで1点しか与えない。6-1で大分が主導権を握った。対する広島は攻撃をツーポストにし、なんとか得点を取ろうとするが、リズムがつかめない。10分過ぎに広島は3-2-1DFへ変更、要所でマイボールを⑬小先が巧みなパスワークでつなぎ、点差を縮める。⑩河野の速攻⑬のカットからの得点やステップシュートなどで前半、大分の2点リードで折り返す。後半は両チーム一進一退の攻防が繰り広げられる。広島は⑤井手のサイドや②キャプテンの住吉のポスト、大分は⑥後藤のロング⑤江藤などで互いに譲らない。攻撃力は互いに高く、シュートまでの展開力には目を見張るものがあった。勝敗の分岐点は大分①野上の再三のファインセーブにあった。決定的場面で長身を生かしたキーピングのみならず、巧みな駆け引きで相手シューターを翻弄した。攻めては④佐野の個人技からのポストパスなどで徐々に突き放し、広島がDFシステムを6:0あるいはマンツーマンにしても慌てることなく、4点リードを保ち、大分が決勝へ駒を進めた。両チーム気迫溢れるプレーが随所に見られた。準決勝にふさわしい好ゲームであった。</p>	